

農林水産省食育関係表彰における 「多様な暮らしに対応した食育の推進」に関連する取組

農林水産省で実施した食育関係表彰（平成 29 年度食育活動表彰及び平成 28 年度食育推進ボランティア表彰）の受賞事例のうち、多様な暮らしに対応した食育の推進に関連する 3 つの取組は下表のとおり。

<取組一覧>

No	表彰 年度	受賞団体	取組概要
1	H29	食品ロス削減サークル〈美作大学〉 （岡山県）	フードドライブ活動を主とした食品ロス削減活動及び食品の有効活用に取り組む活動
2	H29	いばらきコープ生活協同組合 （茨城県）	茨城農業を応援する野菜の販売体験と多様な暮らしの変化に対応した地域の共食に取り組む活動
3	H28	新居を花いっぱいにする会 （高知県）	農作業で収穫したもち米から赤飯を作る食体験を通じて地域住民と児童のつながりを深める活動



ボランティア部門
《大学等》

消費・安全局長賞

食品ロス削減サークル 〈美作大学〉

(岡山県) 活動期間 3.5年

フードドライブ活動を主とした食品ロス削減活動及び食品の有効活用

食の循環や環境を意識した 食育の推進

NPO法人フードバンク岡山と連携し、家庭で余った食料品を必要としている人に贈るフードドライブ活動で寄贈された食品の受け取りや仕分け分配作業を行っています。また、フードバンク活動やフードドライブ活動で寄贈された食品を活用し、「ぼかぼか食堂」や「子ども食堂」を開き、地域の高齢者や子供たちに共食の場を提供し地域づくりに貢献しています。



「ぼかぼか食堂」で近隣の高齢者の方に食品ロスの話とメニューの説明

食品ロス削減の普及

子供たちが楽しく食品ロスの実態や食品ロス削減の大切さを理解できるよう、「食品ロス削減かるた」や「食品ロス削減すごろく」を作成し、エコフェスタや学園祭等イベントで活用し、子供たちや家族連れに親しんでもらっています。メディアで活動を取り上げてもらうなど、食品ロス削減の普及に取り組んでいます。



エコフェスタin津山で参加者が「食品ロス削減かるた」「食品ロス削減すごろく」をしている様子

未来の管理栄養士の養成のために

管理栄養士養成施設である大学として、未来の管理栄養士や栄養士に、食品ロスに対する認識を持ち、将来、地域社会に対して食品ロス削減を指導するキーマンとなって欲しいとの思いで活動を進めています。



白梅祭（美作大学学園祭）での食品ロスとフードバンクのパネル展示



「子ども食堂」で、学生が食事を調理している様子

日本の食品ロスは632万トン。食料自給率は主要国中最低。多くの食料を輸入。近年貧困や格差拡大で生活困窮者増加。食品ロス削減は必須。

将来食の専門家として、食品ロス削減を学生や市民にお伝えしていきます。

食品ロス削減サークル
原田 佳子（顧問）
島田 月帆（部長）
森本 絢音（副部長）

